



かがわクリニック通信

のう こう そく 脳梗塞

脳梗塞とは、脳に必要な血液が供給されなくなることによって脳の組織が損傷を受ける病気です。生活習慣病(高血圧・脂質異常症・糖尿病など)による動脈硬化で脳の血管が狭くなったり、不整脈などが原因で心臓の中にできた血の塊がはがれて、脳の血管が詰まったりすることにより発症します。

ここでは異常の生じた血管(動脈)の大きさによる症状の違いをお話します。

脳梗塞の種類による主な症状

小さな動脈の病変

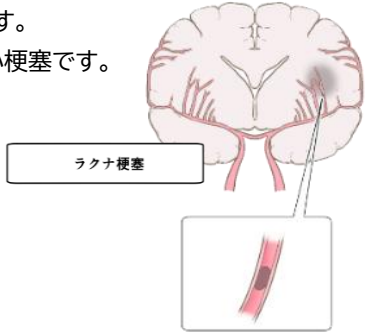
小さな動脈の病変によるものを**ラクナ梗塞**といいます。その多くは穿通動脈(せんつうどうみやく)の病変による小梗塞です。

●片麻痺
一般に片方の脳が障害されると反対側の半身が麻痺する

●ごく軽い麻痺と同側の運動失調
力はあるのに立てない、字が書きにくい

●感覚障害
痛みや熱さ・冷たさが分からない、感覚が鈍くなる

●構音障害
舌の麻痺、顔面神経の麻痺などによりろれつが回らなくなる



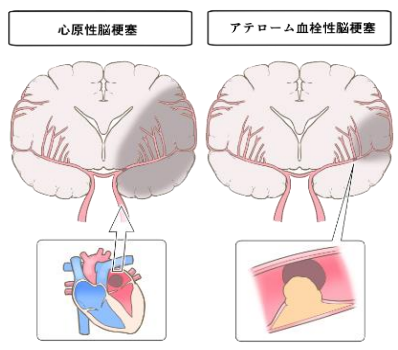
大きな動脈の病変

大きな動脈の病変は主に**アテローム血栓性脳梗塞**と**心原性脳塞栓症**に分かれます。アテローム血栓性脳梗塞は、動脈の粥状硬化(じゅくじょうこうか)による狭窄や閉塞により生じます。心原性脳塞栓症は、不整脈などによる心臓からの血栓が動脈に引っかかって生じます。

●意識障害
意識がなくなる

●失語
言葉が出てこない、他人の言う事が理解できない

●同名半盲
両方の眼の同じ側の視野が欠ける



●失行
いつも行っている動作ができない

●共同偏視
両方の眼が連動して病巣のある方をにらむ(大脳病巣の場合)

●失認
よく知っているはずの物や人の顔が認識できない

●半側空間無視
見えているはずなのに左側(ときに右側)の物を無視する

「脳梗塞の予防について」 生活習慣病の治療や心臓病の治療を行い脳卒中の発症、再発を予防しよう!

- 生活習慣病の治療
 - 高血圧の治療: 塩分摂取制限、内服治療
 - 高コレステロール(高脂血症)の治療: 食事管理、内服治療
 - 糖尿病の治療: 食事管理、内服治療、インスリン治療
 - メタボリック症候群の治療
- 心臓病の治療
心房細動、心不全、冠動脈疾患などの治療
- 水分の補給

夏場など汗をかいて体の水分が少なくなると血液の流れが悪くなり、血栓がでやすくなって脳梗塞の引き金になることも少なくありません。たくさん汗をかいた時やお風呂上がりなどには常に十分な水分を補給することを心掛けてください。

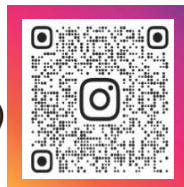
「生活習慣の改善について」

- 食生活の改善
腹八分目、脂肪分、塩分、甘いもの、アルコールを控える
- 定性体重の維持
BMI(肥満度) = 体重(kg) ÷ (身長(m) × 身長(m))
25以上が肥満
- 禁煙
受動喫煙も脳卒中の危険因子! 過度の飲酒を避ける
- ストレスをためない

健康診断

自分のため、家族のために 早期発見!

年に一度は 健診を受けましょう!



医療法人社団 清明会 かがわクリニック 兵庫県加西市北条町西高室595-11 0790-43-8887

当院の情報をホームページから見れます!

かがわクリニック 検索